

令和８年度７月定例教育委員会会議録

1. 日時	令和８年７月１５日（水）（午後３時から）
1. 場所	市来庁舎 ２階庁議室
1. 委員会に出席した人	相良一洋教育長 橋口美代子委員・若松友子委員・坊野貴之委員 吉永教育総務課長兼学校給食センター所長 米村学校教育課長・大竹社会教育課長・芹ヶ野市民スポーツ課長 戸越学校教育課長補佐・永井社会教育課長補佐 松崎市民スポーツ課長補佐 書記 岩下教育総務課長補佐
1. 附議事件	今回はなし
相良教育長	只今から７月定例教育委員会を開会します。 （教育長 挨拶）
相良教育長	会議録署名委員については、橋口委員にお願いしたいと思います。 よろしくお願いいたします。 次に、定例教育委員会会議録の承認についてですが、委員の皆様、 会議録について、いかがでしたか。何かありませんでしたか。 無いようであれば、６月定例教育委員会の会議録については承認と いたします。
相良教育長	今回は附議案件がありませんので、その他に入ります。 （１）行事報告及び行事計画について、説明をお願いします。
吉永課長	教育委員の皆様方に関係のある日程について、報告させていただきます。 ○令和８年度市町村教育委員会委員研修会 ７月２９日（水）１３：３０～１６：３０（県庁２階講堂） ○８月定例教育委員会 ８月２０日（木）１５：００～（市来庁舎２階庁議室）
戸越補佐	○教育講演会（火）１３：３０～１５：２０（いちきアクアホール） ※チラシ配付

吉永課長	先ほどお話ししました7月29日の市町村教育委員会委員研修会について、テーマとして「部活動の地域展開・地域連携の推進について」ということになっております。 学校教育課で資料を作っていただいておりますので、頭づくりとして説明を聞いていただきたいと思います。
戸越補佐	それでは、部活動の地域展開等について、本日文部科学省のホームページに掲載された「いちき串木野市における部活動の地域展開等」と7月29日の委員研修会に向けて作成しました「部活動の地域展開・地域連携の推進」について、説明します。 〔資料を見ながら、本市の部活動の地域展開について説明〕
相良教育長	明日、19市の教育長・総務課長会がありますが、その中でも質問事項として地域部活動の地域移行のことが多く出されています。 また、特に部活動での試合の送迎については、6月議会においても責任の所在などが、一般質問でも出されたところです。現在、土日の地域移行ということで実施しておりますが、今後は平日についても移行ということになります。 本市の地域移行については、委託事業を受けて実施してきましたので、県内でも進んでいるほうではないかと考えているところです。なお、謝金単価は1時間1,200円、1日最高8時間、1団体年間156時間までとしています。 今日は、これをたたき台に考えていただいて、当日に向けての共通理解を図りたいと考えております。
橋口委員	現在、いくつの部活動がありますか。
相良教育長	市来中が5部活動、串中が12部活動で、計17部活動です。 全国で報道された大きな事故以来、文部科学省から県に対して、安全確保をしっかりとしなさいという旨の通知がきております。本市も安全確保のガイドラインを作っておりますが、説明責任については謳ってないところです。 ですから今後、保護者会・指導者・顧問・校長等を入れて、連絡協議会を作りながら、安全確保のためのガイドラインを焼き直しをする作業が出てくると思います。
若松委員	私達の時は、保護者会で誓約書を取り合って、運転する保護者の保険の範囲内で対応という形にしていました。部活動費も取って、練習試合の飲食物等に対応していました。自分達の時代はそれがベストだったのかなと思いますが、実際事故が起きていないので、そういうこ

	とをしていますが、何か言われたかもしれないというのは無きにしも非ずです。 これまでの話を聞いていると、部活動自体もやりづらくなっている。また、皆さん 70 代まで働く方も多くなり、果たして指導者が生まれてくるのかなと思います。部活動の良さが失われることが無いようにと思うところです。 質問ですが、1 部活の謝金は、時間当たり 1,200 円で、年間 156 時間までということですが、監督とコーチの 2 名いれば、それを割らないといけないということですか。
相良教育長	その通りです。1 部活に 2 名ずつ割り振って謝金を支払うこととなっており、上限は 2 名で年間 156 時間となっています。
吉永課長	この地域部活動移行については、休日ということで、国の指針に従って要綱を作っております。時間が多ければいいという問題ではなくて、子どもたちが休む時間が必要だという考えのもと、年間 156 時間という数字が出てきたと理解しています。 また、他市では約 1,600 円ですが、本市では 1,200 円としています。これは今後補助事業が終了し、受益者負担が出てきたときに、対応が難しくなるのではないかと憂慮したことによります。ただし、近年、最低賃金が上がってきておりますので、今後は見直しが必要になることも考えられます。
相良教育長	次に(2)次回の定例教育委員会開催日についてですが、8 月 20 日(木)の 15 時から、2 階庁議室で予定しておりますが、いかがでしょうか。 では 8 月 20 日の日程調整等、よろしくお願いします。
相良教育長	次に(3)その他に移りますが、何かありませんか。
橋口委員	英語カルタについて、学校教育課のほうにお配りいただきましたので、ご覧ください。 絵札の後ろに単語が 3 つずつあり、読み札については、絵札に関する文章となっています。カルタですから、リズムがあるわけです。英文も和文もカルタらしく、リズムで考えてあります。 中学 3 年生までを対象と考えて、レベルを英検 3 級程度として、中学校の英語の先生にもご協力いただきました。 4 月に各小・中学校にお配りになって、1 学期が終わろうとしている時点ですが、学校での利用状況を学校教育課で把握されているかお聞きしたいと思います。
米村課長	学校に対して、何回使ってくださいといった指示はしておりません。

	基本的には、学校の中で使用していくと。 カルタとしてだけではなくて、絵に本市の名所もありますので、総合的な学習の時間ですとか、低学年がアルファベットに初めて触れる場合ですとか、指導主事に使い方の紹介をして、各学校で使ってくださいという話をしております。 指導主事にも活用状況について確認をしてもらっていますが、それぞれの学校で、それぞれの発達段階に応じて活用しているということでした。また、ALT が活用したり、子ども達が休み時間に使って遊んでいるという話を聞いてますが、回数といったところまでは把握しておりません。また、先週は南日本新聞が、照島小学校で英語カルタの活用状況について取材をされたところです。 今年度は、どんな活用ができるか探っていくこととしております。
橋口委員	前回、音源を作ったらどうかという提案をさせていただきましたが、その後の具体的な作業はどうなっていますか。
米村課長	例えば、音源があってカルタ的な使い方をするとすると有効だと思いますし、それから読むという活用をさせたいとなれば音源はない方がいいですし、いろんな活用をしていきながら、学校の意見も聞いて検討していきたいと考えています。
橋口委員	音源がない方がいいという意見がどこからくるのなかと思ったんですが、そもそも「英語のまちいちき串木野」というスローガンのわりにはこれといったものがない中で、社会教育課であいさつのまちをやってらっしゃるように、英語カルタのまちといったアイデアが出てきてもいいのではないかと思います。 学校の中だけで、この使用を考えている限りでは、なかなか広がらない。学校の先生によっても差があるでしょうし、学習指導要領のほうに一生懸命ですから、音源は絶対に必要だと思います。 また、シャッフル機能を持たせれば、昼休みなど、英語の先生がいなくてもカルタ取りゲームができるわけですね。学校だけでなく、学童保育もぜひほしいということでした。 それから、将来に向けてのアイデアですが、市来湊魅力創出プロジェクト会議がありますが、英語カルタも活用すれば、英語も身につく、市の歴史や文化も身近な情報として覚えてもらえるのではないかと思います。 他市の例では、郷土カルタの絵札と読み札を対にしたポスターを作ってるんです。こういうものを作ったらどうだろうかと。 また、文化財マップでは、市の史跡がどこに分布しているかを分けるようになってますが、英語カルタのバージョンを作って、ファイルにして来年４月に入ってくる１年生に配布するとか、評判が良ければ

相良教育長	観光案内所などで売ってみたいかどうかと思います。 他の課とも連携して、英語カルタのまちにできたらなと思っております。アイディアをお話しました。 ポスター的なものの提案がありましたが、これは作るように私が言っておきたいと思います。こういうのを作って、まず全体が見れるようにするということですね。 それから、ファイルについてですが、いくら位かかるのか。数によってもいろいろあると思いますが、いい考えだと思います。音源については、今後また検討していくということになるかと思います。 また、本市は、英語のまちとしてやってきたんですが、なかなかそこまでの展開がなされてないということが、いろんな会の中で出てきて、英語のまちのタイトルを外して、英語の教育のまちということで特化して考えていきたいと思いますということになりました。 ただし、今月 30 日には天理市議会の皆さんが、英語のまちとしての取組を視察に来られることになっております。さらに、同日、南相馬市議会からは、地域部活動の展開について視察に来られます。
橋口委員	全国に郷土カルタは、400 以上あるそうですが、A から Z までの音を意識した英語カルタは全国初めての試みだそうですから、そこを大事にして、学校だけでなく市の PR として、広いところでの活動を希望します。
相良教育長	いろいろご意見があると思いますので、温めながら、市民のために、子ども達のために活用していけたらと思います。学校教育の中では時間が限られているところもありますし、そういう遊びを通して学ぶことも慣れていけばできると思うんですよ。
相良教育長	その他で、ほかに何かありませんか。 無ければ、以上で、7 月の定例委員会を閉会いたします。 ありがとうございました。 (午後 4 時 28 分)

本会議録は正当なることを認め、ここに承認する。

令和 8 年 8 月 20 日

教 育 長 相 良 一 洋

委 員 橋 口 美 代 子